

## 山中湖情報創造館

住所: 401-0502 南都留郡山中湖村平野 506-296 開設年: 2004年 設置母体: 市町村区立

所蔵資料: 蔵書 52,075 冊 職員総数(非常勤を含む): 8人

目的 〔達成状況〕	①その他: 地域における歴史や文化の記録収集〔始まったばかり。村民の関心が高まった〕 ②新しい表現〔始まったばかり〕 ③活動成果の普及〔始まったばかり〕
所蔵資料の 収録率	0% (著作権法の問題もあり蔵書のデジタルアーカイブには取り組んでいない。)
運営予算	◆年間予算に占める割合: 平成 21 年度は 30 万円の予算化。運営総額及び 3,400 万円に対して、0.1%。平成 22 年度以降は予算化はなし (平常業務としての扱いとなる)。 ◎課題・工夫点等: デジタルアーカイブそのものに対する予算は確保されていないが、日々の図書館活動を通じた記録をアーカイブ化、さらには地域住民からの情報提供/協力のもとでデジタル化 (デジタルカメラでの撮影/イメージスキャナによる取り込み) を行っている。
人員	◆運営担当者: 知識の多い職員 ◆職員のスキル等: 前職で、ソフトハウスの企画・デザイン、DTP による出版物の作成、CD-ROM によるマルチメディアタイトルの製作、動画編集、デジタル画像処理、ホームページ作成、データベース構築などの経験を有する職員が実施。NPO 活動を通じて、デジタルアーカイブのノウハウを習得。 ◆人材育成の取組: 図書館資料やウェブサイトなどからによる独学 ◎課題・工夫点等: 過去の写真ばかりではなく、図書館の活動に関するあらゆる記録や地域の行事などができるだけ地域の図書館が記録し保存することが大切であると伝えている。
権利処理	◆処理方法: 権利者との信頼関係、その他: 自分たちで撮影した写真を Creative Commons としている。 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕: その他: 権利処理には費用をあてていない。 ◎課題・工夫点等: 自分たちで撮影した写真は Creative Commons 等として公開可能なものをアーカイブ化している。地域住民の皆様からご提供いただいた写真のデジタル複写は、信頼関係により公開している (まだマニュアル化できていない)。公開時にはウォーターマークを入れるなどの処理をしている。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕: 連携していない
その他 F.A.	1. 決してあせらない。あわてない。 2. 最初から完璧を目指さない。できるところから。 3. 記録対象を限定しない (収集時にフィルタリングしない)。 4. お金をかけない (手元にある機材を活用)。 5. できるだけ汎用のデータフォーマットやアーカイブシステムを使う。JPEG, Flickr 等

### 【山中湖情報創造館・提供アーカイブ】

#### ■山中湖古写真所在目録(1 件目/2 件中)

公開年: 2009 年 URL: <http://www.flickr.com/photos/lib-yamanakako/collections/72157623231436875/>

更新頻度: 年数回程度

#### ■山中湖デジタルアーカイブ (サークル活動) (2 件目/2 件中)

公開年: 2009 年 URL: <http://www.lib-yamanakako.jp/archives/archives.html> 更新頻度: 年数回程度

概要	山中湖古写真所在目録は、山中湖の歴史や文化などを記録する写真を地域住民の提供により収集 (デジタルカメラによるデジタル複写)。山中湖デジタルアーカイブは村民サークルによる「今、記録できるもの」を自ら撮影し取材してアーカイブ化。 ◆コンテンツ総容量: - ◆コンテンツ総件数〔内訳〕: - ◆コンテンツ増加量: -
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕: 1,000 件/月 ◆館内等利用者数: 不明 ◆利用条件: 無料 ◎課題・工夫点等: 館内でのスライドショー展示 (iMac による)、Flickr での公開とブログへの組み込み等。
構築	◆システム開発方法: パッケージ利用: iPhoto, その他: ネットサービス Flickr を利用 ◆構築予算: - ◆予算の出所: 担当者の私費による。 ◆予算獲得のきっかけ: 山中湖情報創造館の指定管理を行っている団体 (NPO 法人地域資料デジタル化研究会) のデジタルアーカイブの取り組みが注目され、予算化された。 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕: 内部の人材 ◆コンテンツ作成費: 11~50 万円
運営	◆年間運営予算: 0 円 (指定管理料に含む) ◆予算の出所: 自前の予算

	◆運営業務の担い手[委託内容]:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:デジタルアーカイブ担当者 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG, MOV, M4V ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:特に取り組んでいない。
システム間連携	◆外部インターフェイス:Flickr の設定による ◆連携システム:山中湖情報創造館公式サイト

(平成 22 年 11 月回答)

## A. 基本情報

### A-1 自己紹介をお願いします。

丸山高弘 特定非営利活動法人地域資料デジタル化研究会 副理事長、山中湖情報創造館指定管理者館長

### A-2 「山中湖古写真所在目録事業」(<http://www.flickr.com/photos/lib-yamanakako/>)について簡単にご紹介をお願いします。

人々が記録した写真やフィルムも、地域における歴史や文化を伝える大切な記憶がある。その想いから地域の公共図書館が拠点となり、地域住民の所蔵している記録を収集する事業によるひとつの成果物としてのデジタルアーカイブです。

## B. 構築時の状況について

### B-1 構築のきっかけは何ですか？また、それはいつ頃のことですか？

山中湖情報創造館における指定管理者の業務をする中で、母体である NPO 法人のミッションを教育委員会担当の方に伝える中で、平成 21 年度に予算化され事業として当 NPO 法人が受託しました。

### B-2 どういうデジタルアーカイブを作るか、提供するコンテンツの種類をどうするか等の方向性は、どのように決めましたか？

山中湖村内における風景、暮らし、仕事（生業）、祭事等、地域の記憶を中心にしました。

### B-3 作業プロセスの概略を教えてください。

- ① 広報等を通じて告知
- ② 住民からの情報提供
- ③ 出張による写真撮影

### B-4 どのような体制で構築作業を行いましたか？例えば、特別にプロジェクトチームのようなものを立ち上げましたか？また、何人くらいの職員が担当しましたか？

プロジェクトチームの立ち上げは無く、担当は 1 名で実施しました。

### B-5 構築にあたり、他館の事例を参考にしましたか？その場合、参考とした館を教えてください。

Flickr 上にある“The Commons”(<http://www.flickr.com/commons>)を参照しました。

B-6 他の組織や外部有識者、自治体内の他の部署等に相談に行ったりしましたか？また、参考になった資料等があれば教えてください。

NPO 法人地域資料デジタル化研究会のこれまでの取り組み、横浜市における開港150周年記念事業による「みんなでつくる横浜写真アルバム」などを参考にしました。

B-7 （委託の場合）職員と委託業者の作業をどのように切り分けましたか？

図書館の指定管理者である団体と同じNPO法人なので、業務時間を切り分けた程度です。

B-8 構築に着手してから公開に至るまで、おおよそどのくらいの時間がかかりましたか？

10か月程度です（単年度事業としては終了しましたが、継続しております）。

B-9 構築に際し、もっとも大変だと思われたのはどのような点ですか？

写真提供者との信頼関係です。

B-10 構築に際し、担当者にはどの程度のシステム関係の知識・技術が求められましたか？

デジタルカメラによる写真撮影、パソコンへの取り込みとトリミング／画像補正、Flickrへのアップロードができる知識・技術です。

B-11 システム関係以外に必要な知識・技術はありましたか？

デジタル画像の基礎知識が必要になりました。

B-12 必要となる知識・技術をどのように身につけましたか？受講した研修等があれば教えてください。

過去に取り組んで来た仕事を通じて身につけました。

## C. 稼働後の運営について

C-1 現在の担当者は何名ですか？（委託の場合、委託業者と職員に分けてお答えください。）

1名です。

C-2 日々の作業としてどのようなことを行っていますか？

画像のスライド表示（来館者に観てもらうため）、メタデータの充実化を行っています。

C-3 運営に当たり、課題だと感じていること、負担となっていること等がありますか？  
備品として専用の機材を用意できなかったので、持ち出しが多いことです。

C-4 デジタルアーカイブのコンテンツを他の用途に活用していますか？（学校や市民講座の教材として活用、紙焼きして展示会を開催等）  
館内展示のみ行っています。

C-5 日々の作業に当たり、担当者にはどの程度のシステム関係の知識・技術が求められていますか？  
普通にパソコンが使えて、ブログなどへのログインや書き込みができる程度の知識・技術です。

C-6 システム関係以外に担当者に必要とされる知識・技術はありますか？  
写真を見る知識。おおよその年代を特定したり、撮影場所を予想したりする知識です。

C-7 担当者の人材育成のために、研修等何か取組みを行っていますか？  
館内ではありませんが、別団体として Code4Lib JAPAN を立ち上げワークショップを実施しています。（<http://www.code4lib.jp/>）

#### D. 地域住民の参加の有無

D-1 コンテンツの構築や解題の作成等、地域住民の協力を得ていますか？  
得ています。山中湖の写真の所在に関する情報提供や、撮影協力、写真に対する情報提供などに協力していただいています。

#### E. 他機関との連携の有無

E-1 デジタルアーカイブの構築・運営に当たり、他の機関と連携・協力していますか？  
当 NPO 法人地域資料デジタル化研究会のメンバー、デジタルアーカイブに取り組む他 NPO などと連携・協力をしています。

#### F. 商用サービスの利用の有無

F-1 Flickr、YouTube のような商用サービスを活用していますか？  
使っています。

Flickr pro アカウント

<http://www.flickr.com/photos/lib-yamanakako/>